

河内山



学 校 だ よ り
令和6年10月22日②
校 長 室 発 行



河内小 HP

昨年度の人権講演会に来てくださった竹内清文さん(きよちゃん)が、10月16日に人権ワークショップを開いてくれました。4～6年が参加して、「ちがいを尊重し合い、だれもが安心して過ごせる学校づくり」を目指して、『多様性(ダイバーシティ)の尊重』をテーマにして、みんなでワークをしました。

私たちは“チーム”として同じ目標に向けて取組むために、複数の異なる人たちの知識や経験を集めて知恵や工夫をしながら課題解決等に取り組んでいます。この多様な人たちの考えを合わせることを『集団知』といいます。個人や似た考えの人たちだけでは生まれない考えや視点があることがとても大切で、多様性が尊重されるのはそのためです。チームで安心して自分の意見が言えて、自分らしくいられるように『心理的安全性』があることが大切で、チームの効果性に最も影響を与えるものだという価値についてもワークを通して考えました。放課後には、同じテーマで職員の研修会を開き、同じテーマで考えました。

NPO レインボーハート okinawa 竹内 清文 理事長

「まわりとちがっても だいじょうぶ」



LGBT の人もみんなが幸せに生きられる社会にするために、「ちがい」を大切にすることを竹内さん(きよちゃん)から教えてもらいました。性は虹と同じグラデーションです。みんなが安心して安全に、自分らしさを大切にするための『5つの大切なこと』を確かめました。

「5つの大切なこと」

- ① 正しい・間違いや治る・治らないではありません。男らしく、女らしくではなく、『自分らしく』。居心地のいいあり方を！ (注)「わがまま」とは違います。
- ② 周りと違って大丈夫！ (例え、学校中の人と違って大丈夫！)
- ③ 今は分からなくても、決めなくても大丈夫。将来変わっても大丈夫。
- ④ 自分とは違う周りの人を大切にしましょう。一人ひとりが大切な存在です。
- ⑤ もしも分からないことや困ったことがあったら一人だけで悩まず、学校の先生やきよちゃんなど、信頼できる大人に相談してみましょう。



表 彰

☆1学期の生活チェックカード達成者【60点満点】の表彰
体づくり委員会の青木和花委員長が表彰しました
1年:オースティン葉月さん、5年:近藤愛李さん

●第33回児童木工工作コンクール美作地区審査大会
アイデア賞 6年 妹尾航希さん

●第70回青少年読書感想文コンクール真庭支部審査会

☆金賞 1年 渡邊 凜さん「じぶんをすきになるおまじない」をよんで

☆銀賞 2年 石岡良一朗さん「チャレンジするゆうき」

4年 渡邊芽依さん「モリスが教えてくれたこと」

☆銅賞 5年 松尾沙耶さん「青いスタートライン」を読んで

5年 三浦琉愛さん「平和のとうとさ」

6年 岸本和果さん「ごめんねでてこい」を読んで

●真庭地区児童科学研究会

☆入選 6年 青木 空さん「保護者したツバメの成長記録をまとめよう」



●能登豪雨災害への支援協力をお願いしたところ、多くの方が支援物資(古タオル類)を届けてくださいました。NPO 法人 manabo-de さんからすぐに能登へ送っていただきましたことを報告します。急な呼びかけでしたが、多くのご家庭からご協力いただきました。

●『河内っこタイム』は毎週水曜の自主学習時間です。算数で分からないところやチャレンジ問題等に取り組んでいます。今年は2学期から、縦割り班での学習の機会を7回計画しています。6年生たちが中心になって、下学年のサポートをしている様子が成長ぶりを感じます。



●河内祭りで、学校へも御神輿やだんじりが来て、華やかな日になりました。そして東谷地区の見事な獅子舞も見ることができました♪

